

マメザクラの苗を鉢に植え替える「鉢上げ」に取り組み生徒たち＝伊豆市の中伊豆中

中伊豆中生 苗を「鉢上げ」



伊豆・皮子平にマメザクラ植樹へ

伊豆市立中伊豆中の2年生が17日、市民団体や行政などで組織する「天城山皮子平マメザクラ保護協議会」と協力し、マメザクラの苗を鉢に植え替える「鉢上げ」の作業を同校で行った。絶滅の危機にあった同市の皮子平のマメザクラを守る取り組みで、生徒が約1年半かけて苗を育て、皮子平への植樹を目指す。

(大仁支局・市川淳一朗)

天城山系の標高約1 ころからマメザクラの100坪付近に広がる 木の枯死が確認され、皮子平では2000年 保護に向けて07年に市

50～100センチ 1年半かけ育成

民団体や国、県、市でつくる協議会が発足。その後、同校と共同で苗を育て、現地に植樹する取り組みが続いている。17年度までに約250本の若木を植樹し、枯死した分を取り戻しつつある。

同日は県伊豆農業研究センターが発芽させた51本のマメザクラの苗が用意され、生徒10人が1本ずつ鉢に移して土をかぶせた。鉢は同校の敷地内に置き、50～100センチの大きさまで生徒たちが育てる。参加した生徒は「マメザクラの命を増やしていきたい」など感想を語った。